

## 4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1改善を要する

- 1 学校の教育目標「自ら学び、豊かな心とたくましく生き抜く力をもち、ふるさとを愛する児童の育成」
- 2 めざす児童像「自ら進んで学ぶ子」「礼儀正しくやさしい子」「心身ともにたくましい子」
- 3 めざす学校像「落ち着いた学校」「安心・安全な学校」「美しい学校」
- 4 めざす教師像「分かる授業を行う教師」「人間性豊かな教師」「覇気のある教師」

<学校経営ビジョン> 「職員総力戦で」を合い言葉に、児童に対する深い愛情と教育に対する情熱・使命感をもって指導に当たり、「児童が明日の登校を心待ちにする」学校を目指す。

重点目標	具体的目標	自己評価結果(成果と課題)	評価	学校運営協議会委員意見等
1 学力向上 ＜知育＞ 	1 少人数・複式学級のよさを活かし「伝えること」を意識しながら、児童が「分かる・できる」授業を目指す。	○ 全員1回の研究授業を行うことで、授業力向上に向けて、教師同士が学び合い高め合うことができた。 △ 基礎基本の定着、家庭学習の充実、読書に親しませることについては、個人差が大きいので、今後とも個別指導に力を入れていく必要がある。	3	○ 先生方の学力向上に向けての努力がよくわかった。今後も学力向上に向けてしっかりと取り組んでほしい。 ○ 読書については、読み聞かせボランティアの方々の関わりなどすばらしい取組が継続されているが、アンケートの結果を見ると、家庭での読書があまり充実していないことがわかる。今後は、家庭との連携を図りながら、より一層充実した活動を工夫し、読書に親しむ児童を育てて欲しい。
	2 読書活動充実に向けての様々な取組を通して読書意欲を高め、読む力の向上を図る。	△ 学校での読書活動については充実しているものの、アンケートの結果では、保護者、児童とも昨年度より評価が低く、手立ての工夫が必要である。		
	3 高崎ブロック小中一貫教育を基盤に各家庭と連携した取組を充実させ、児童の学習習慣の定着を図る。	○ 「家庭でつくる8つの習慣」を作成配付し、保護者への協力を依頼することができた。 ○ 高崎地区が小中一貫学力向上の研究を通して、9ヵ年間を見通した授業改善を行うことで、学力向上に取り組んだ。		
2 豊かな心の育成 ＜徳育＞ 	1 道徳教育・人権教育・特別支援教育等の授業や取組を通して、人の心の痛みが分かるやさしい心を育む。	○ 各地区公民館の方々の月1回のあいさつ運動や読み聞かせボランティア、見守り隊等への感謝集会をもつことで、子どもたちに感謝の気持ちを育むことができた。 ○ 1月の参観日に全校一斉の道徳の授業公開を行い、道徳教育に対する保護者への理解を深めるきっかけとした。 ○ 個別の指導計画を作成し、関係機関とも連携しながら、特別支援教育の充実を図ることができた。	3	○ 登校時の挨拶はよくできている。元気な挨拶がいつでもどこでもだれにでもできるようにして欲しい。来年度も地域と連携してあいさつ運動を行い、地域にあいさつの声を響かせて欲しい。 ○ 今、家庭での虐待が問題となっているが、もし発生した場合には、学校だけで対応せず、民生委員や地域の公民館長等に相談し、解決して欲しい。積極的に協力をしていく。 ○ いじめの問題については、発生していないということであるが、今後も一人一人の変化を見逃さず、全職員で対応して欲しい。
	2 全職員が一貫した常時指導を通して、「元気なあいさつ・返事」のできる児童100%を目指す。	△ 毎朝の指導や全校朝会での指導等を通して、校内でのあいさつは大変よい。しかし、アンケートの結果は「できている」と答えた児童は84%、保護者は82%であり、100%の達成はできなかった。		
	3 いじめ解決・不登校ゼロの100%を目指す。	○ アンケートの結果から、「楽しい学校生活」の項目が保護者、児童ともA、B評価が100%であり、概ね満足していたと評価できる。 ○ 毎月のアンケート、教育相談の実施により、子どもたちの悩みに素早く対応し、先手の指導を行うことができた。 ○ いじめや不登校に対しては、早期発見、早期対応を心がけ、いじめ、不登校防止に取り組んできており、今年度は目立った事例は発生していない。		
3 健康でたくましい体の育成 ＜体育＞ 	1 生活リズムの定着に向けて、適切な働きかけを行うことで、全校児童欠席0の日、年間110日を目指す。また、日常的に立腰指導の充実を図り、粘り強い心身を育む。	○ 養護教諭を中心にして、「わくわくmy弁当の日」や休業中の「ヘルスチャレンジ」を通して、家庭との連携を図ることができた。 ○ 欠席ゼロ年間110日を12月に達成することができた。 △ 立腰指導の日の一斉指導や日常指導の充実を図ってきたものの、なかなか日常化を図ることができず、保護者の評価は低い。	4	○ 食育について、学校での取組だけでなく、地域の参加型コミュニティ「おむすびカフェ」の活動も始まり、充実してきている。今後も、地域と連携をしながら進めて欲しい。 ○ 体力テストの結果が向上してきており、日々の体力づくりの取組が成果を上げている。
	2 児童が主体的に運動に親しみ体力の向上につながるように、体力向上プランを活用した取組を充実させる。	○ 体力テストの結果、5段階評価のA段階の児童が増加し、D・E児童が減少した。		
4 家庭・地域との連携 	1 学校便り・ホームページ等を通して、情報を公開するとともに、地域の行事や会議等に積極的に参加する。	○ 菅原神社夏祭り、合同運動会、駅伝大会、挨拶運動などを通して、地域の方々とのつながりを強めることができた。 ○ みやざき子ども教育週間(オープンスクール)には、地域の方々を多くお招きし、子どもたちとのふれあい活動を行った。大変有意義な時間となり、高齢者の方々が喜ばれる活動となった。 ○ ホームページを定期的に更新し、たくさんの方々に見ていただくことができた。	3	○ 地域の行事等に児童や保護者も積極的に参加している。 ○ 「地域に開かれた学校」という印象がある。オープンスクールも大変良かった。来年度はもっと地域に呼びかけ、多くの方々に参加していただきたい。 ○ 菅原神社夏祭り、合同運動会、高崎地区駅伝大会、挨拶運動などを通して、学校と地域が密接につながった活動ができていた。
	2 学校運営協議会と連携を深めながら、ふるさと教育を充実させ、地域とともにある学校づくりに努める。	○ 学校運営協議会の理解と協力を得ながら、様々な行事の充実を図ることができた。		

